

研修報告書 No.15

県外病院初期臨床研修医

研修先： 特定医療法人長生会 大井田病院
医療法人聖真会 渭南病院

私は、令和元年11月に大井田病院と渭南病院にて1か月間、2週ずつそれぞれの病院で地域医療研修をさせていただきました。研修先として高知県を選択した理由は、まず一度も四国に行ったことがないこと、また今まで都市近郊でしか生活したことがなく、地域でどのような医療が行われているかを経験して、その実情を知らなければならぬと感じたためです。私の研修した大井田病院、渭南病院は高知県の西南は幡多地域にあり、大井田病院は高知県の宿毛市に、渭南病院は土佐清水市に所在し、どちらの病院も高知市内から車で3時間程の場所にある病院です。関東の川崎市から車で移動した私は、とてつもなく遠いところに来てしまったなと思いました。

研修の第1週目、大井田病院に到着した初日に私はさっそく訪問診療に行かせていただきました。大井田病院のある宿毛市は港町で、訪問診療で移動している車から見える町や海の風景がとても印象に残りました。訪問診療は車で宿毛に点在する各施設や自宅を訪問し、診察、血圧管理、処方、必要があれば採血をしていきます。宿毛市も他地域の例と変わらず、高齢者が多く、医療を必要とする方が多くおられました。

ご家族と一緒に住まわれている方もいれば、ご家族は都会に出て働いていて、一人で暮らしている高齢者の方もおられました。都心と違い、病院へのアクセスが良くなく、自分自身で車を運転して病院へ行くこともままならない方も多いため、訪問診療が地域を繋げて果たす役割の大きさを実感することができました。また、外来も見学させていただきました。外来では内科や外科の垣根はあまり関係なく、1人の医師が果たす役割も大きく、幅広い分野に対応する力が求められていることを感じ、都心で細分化されている医療では経験できないことが、ここではできる可能性を感じました。また、幡多保健所で研修する機会もいただき、地域のために保健所が行っている仕事を学ぶことができました。地域を様々な医療機関や組織が支えていることがわかりました。

第3週目からは、渭南病院で研修を行いました。渭南病院のある土佐清水市は東京から公共交通機関を使って移動した場合に最も遠い場所と言われているだけに、近隣の他の病院からも遠く、幡多地域の中核病院である幡多けんみん病院までも車で小一時間かかるため、ある程度急性期疾患をみなければならぬ環境にありました。そのような地域だからこそ、急性期から慢性期まで幅広い疾患があり、患者さんの生活まで考えて地域全体を診る必要があることを改めて感じました。昨今地域の医師不足が叫ばれており、この地域で熱い思いを胸にご尽力されている先生方や医療スタッフの方々のおかげで医療が成り立っているこ

とを実感しました。地域医療の実情を目の当たりにして医師として、将来、ある程度の期間でも地域医療を支えることに貢献できればと思いました。

最後になりましたが、私を温かく迎えてくださり指導していただいた大井田病院、渭南病院、病院スタッフの方々、事務の方々、地域医療研修の機会を提供していただいている高知医療再生機構の方々に感謝申し上げます。